

OZONE

ZigZag

取扱説明書 - JP

目次

まず始めに	01
警告	02
ジグに関して	03
各部の名称	04
準備—プロテクション	05
準備—レスキューパラシュートの組み込み	06
装着	09
調節	11
機能	13
使用法とメンテナンス	14
仕様	17
オゾンの品質保証	18

まず始めに

オゾンをお選びいただきありがとうございます。

フリーフライト愛好家、競技者、冒険家からなるチームとして、オゾンの使命は、最先端のデザインと入手可能な最高の技術素材を使用して、最高品質のパラグライディング用品を製造することです。

当社の開発チームはフランス南部に拠点を置いています。グルドゥン、モナコ、コルド・ブレンなどのエリアを含むこの地域は、年間300日以上以上の飛行可能日を保証してくれます。これは、オゾン製品の開発において大きな強みとなっています。

製品を選ぶ際に、品質とコストパフォーマンスが重要な要素であることを私たちは理解しています。そのため、コストを抑えつつ品質を高く保つために、すべてのグライダーとハーネスを自社工場で製造しています。製造工程では、オゾンの製品はすべて厳格な品質管理チェックを受けており、私どもの製品が私たち自身が求めるものと同じ高い基準を満たしていることを保証しています。

オゾン、ジグまたは当社製品に関する詳細情報が必要な場合は、<https://flyozone.com/paragliders/ja> をご覧ください。また、お近くの販売店、パラグライディングスクール、ファルホークインターナショナル(有)またはオゾンのスタッフまでお問い合わせください。

ハーネスを初めて使用する前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

安全なフライトを！

オゾンチーム

警告

- 初めてこのハーネスでフライトする前に必ずこの取扱説明書を良く読んで内容を確実に理解してください。分らない事はフライトする前に、このハーネスを購入されたディーラーあるいは輸入代理店に確認し、理解してからフライトして下さい。
- もし、このハーネスを転売するときには必ずこの取扱説明書を新しいオーナーにお渡し下さい。
- 全ての航空スポーツは肉体的損傷、麻痺を含む重大な怪我ならびに死亡する危険性を内在するものです。
- オゾン製品でフライトする際には、この内在する危険性を完全に理解した上で行ってください。
- このオゾン製品を使用するにあたっては、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。不適切な使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- 製造者、輸入代理店ならびに販売店に対する、この製品の使用に起因する如何なる損害賠償請求も除外されています。
- 可能な限り練習に励んでくださいー特にパラグライディングにおいて重要な要素であるグランドハンドリングを。地上での貧弱なグライダーコントロールが事故の原因の最たるものです。
- パラグライダーの練習は適切なスクールで行い、常にこのスポーツの進化に遅れないよう日々学習する習慣を身につけるようにして下さい。フライトテクニックならびに機材は進化し続けています。
- フライトにあたっては登録認証を受け、なおかつ改造されていないグライダー、プロテクション付きハーネス、緊急パラシュートを、その適正体重範囲内で使用して下さい。認証を取得した範囲を超えての使用は大変危険で保険の対象外になる危険性があります。保険会社を確認するようにして下さい。
- フライトする前に必ず、全ての装備の飛行前点検を実施し、不適切あるいは損傷している機材では決して飛行しないで下さい。
- 常に、ヘルメット、手袋、適切な靴を装着してフライトして下さい。
- フライトに際しては、適切な技能証と有効なフライヤー登録証を持っている事が必要です。
- 肉体的にも精神的にも健康な状態でのみフライトをして下さい。
- あなたの技能・経験に合ったグライダー、ハーネスならびにコンディションを選んでフライトしてください。
- テイクオフする前にフライト場所の地形、気象条件を必ず確認して下さい。疑問の有るときはフライトを断念して下さい。全ての決定に対しては十分な余裕を持って下さい。
- 雨、雪が降っているとき、風の強いとき、気流の乱れているときあるいは雲中をフライトしないで下さい。
- あなたが適切で安全な判断を下すなら、未永くフライトを楽しむことが出来るでしょう。
- 環境を尊重し、エリアを大切にしましょう。
- ハーネスを廃棄する必要がある場合は、環境に配慮した方法で廃棄してください。
- 通常の家ごみと一緒に捨てないでください。

忘れないでください、このスポーツをするのは「楽しむため」なのです！

ジグに関して

ジグは、最高の快適性を求めるプロおよびアマチュアのタンデムパイロットのために設計されました。使いやすさと軽量性により、長時間の使用でも非常に便利でストレスフリー、そして快適です。

開発においては、人間工学に基づいた快適性、耐久性、そして使いやすさを追求し、あらゆる細部にまでこだわりました。開発段階では、2シーズンにわたるプロパイロットによる膨大なフィールドテストを実施し、快適性に関するあらゆる要素を最適化すると同時に、同カテゴリで最軽量を実現しました。

3D形状の背中と脚部のサポートは、パイロット一人ひとりの体型に合わせて設計されており、長時間のフライトでも快適さを維持します。最適化された太ももサポートとの組み合わせにより、膝から肩まで圧迫感のない快適な装着感を長時間のフライトでも提供します。

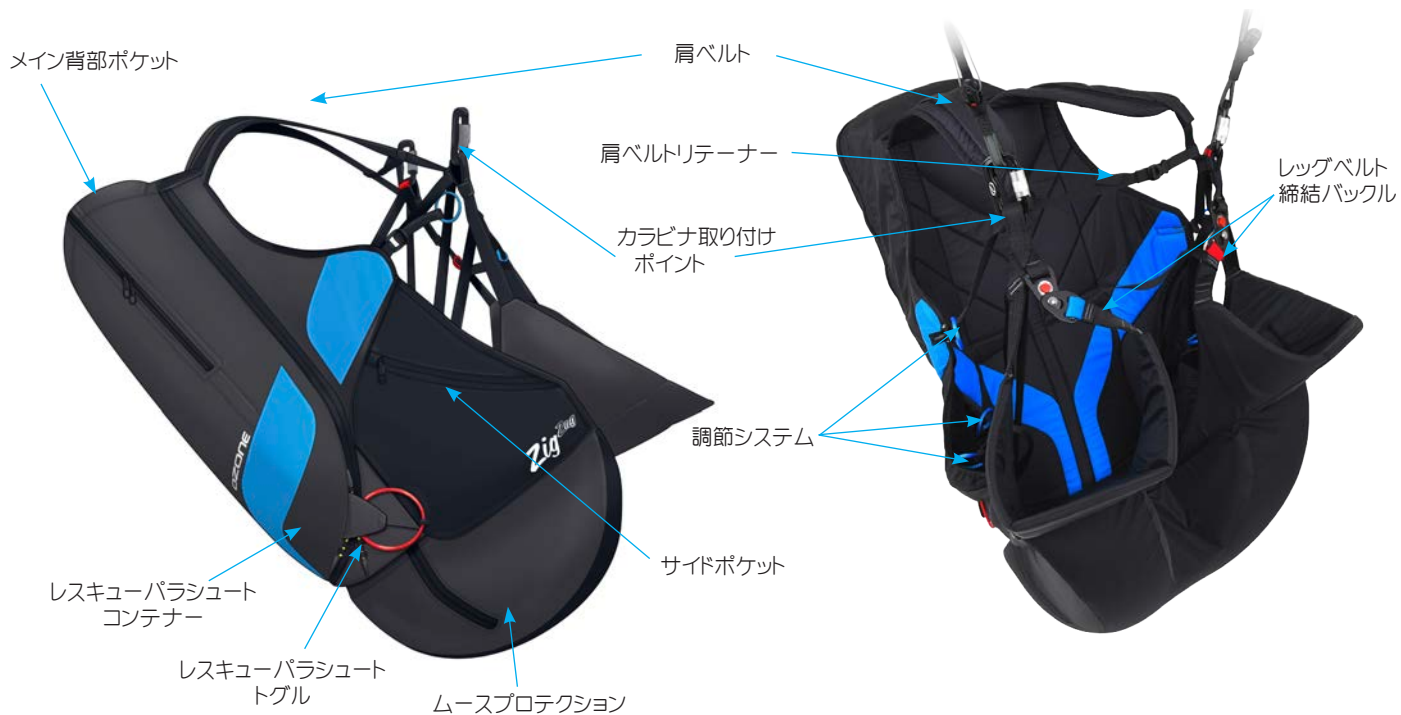
シート角度調整機能により、飛行中の快適性と着座/起立の容易さの最適なバランスを実現できます。装着はシンプルな2バックル式開閉システムで非常に簡単で、分厚い手袋を着用していても簡単に開閉できます。

軽量でコンパクト、かつ効率的なフォームプロテクターは、離陸時の走りやすさを考慮したスプリットレッグを採用しています。レスキューシステムは、2つのジッパーで全方向への容易な引き出しを可能にするように設計されています。レスキューパラシュート収納部は、埃、汚れ、雪からしっかりと保護されており、軽量または標準のタンデムレスキューパラシュートであればどれでも収納可能です。

コードとファスナー付きの複数のポケット、そして大容量背部コンパートメントにより、ちょっとしたフライトから長時間のクロスカントリーフライトまで、必要なものをすべて簡単に収納できます。

ピークシーズンの激しいフライトでも数百時間もの飛行に耐えられるよう、長時間のタンデムフライトにおいてパイロットの負担を和らげる軽量ハーネスとなるように、あらゆる快適機能が組み込まれています。

各部の名称



準備

フォームプロテクター

ジグには、標準装備としてシート下に17cmのLTF/CE認証取得済みフォームプロテクターが付属しています。シート下プロテクターは左右の脚それぞれに1つずつ、計2つのパーツに分かれており、縫い目から空気を段階的かつスムーズに排出することで、強い衝撃を吸収するように設計されています。

プロテクターを初めて展開した後は、完全に膨らむまで時間を置いてください。これには最大12時間かかる場合があるため、取り付け前に一晩置いておくのが最適です。



シート下プロテクターを取り付けるには、下部のファスナー付き後部コンパートメントを開けます。プロテクターを左右それぞれのコンパートメントに、厚みのある方が後ろになるように挿入して、左右の向きが正しいことを確認してください。プロテクターが所定の位置に収まったら、ファスナー付きコンパートメントを閉じます。

警告:プロテクターは完全な保護を保証するものではありません。着地時の衝撃を最も効果的に吸収する手段として、脚の代わりになるものではありません。常にPLF (パラシュート着地転回) の準備をし、フォームプロテクターだけに頼らないでください。

警告:プロテクターの最大耐用年数は製造日から10年です。大きな衝撃を受けた際、プロテクターは可能な限りのエネルギーを吸収するために変形し、場合によっては破損することもあります。例外的な状況では、プロテクターを一度使用しただけで廃棄せざるを得ない場合もあります。プロテクターは、以下のいずれかの条件に該当した場合に廃棄する必要があります: 製造から10年以上経過した場合、信頼性に疑問がある場合、または、外層あるいは内部のフォームが目に見えて損傷している場合。廃棄するプロテクターは、再使用を防ぐために破壊してください。

レスキューパラシュートの組み込み

ジグには一体化されたレスキューパラシュートコンテナが装備されています。ジグは容量6リットルから10リットルまでのパラシュートに対応し、エンジェルSQ220を含むほとんどの最新のタンデムレスキューパラシュートを収納できます。

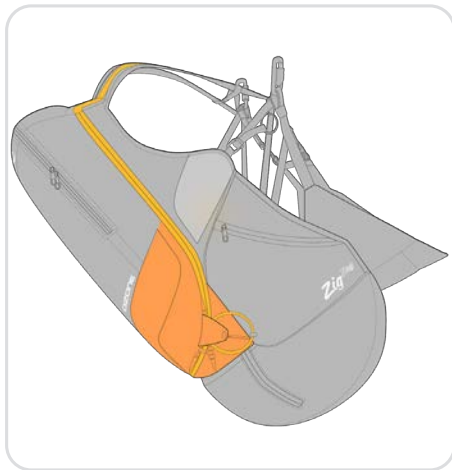
レスキューパラシュートに付属のインナーコンテナに、レスキューパラシュートのトグルをヒバリ結びで取り付けます。インナーコンテナの側面に取り付けポイントがある場合は、そこにトグルを取り付けることをお勧めします。ない場合は、中央に取り付けても構いません。



レスキュートグルを外側出すようにしてインナーコンテナをパラシュートコンテナに挿入します。

ハーネス側のブライダル(別売)を、適切なコネクター(別売)を使用してパラシュート側のブライダルに取り付けます。





ブライダルは、ハーネス右側のパラシュートコンテナとショルダーストラップの間にあるベルクロ閉めのスリーブ(図中のオレンジ色で示されている部分)に通してください。

スリーブは比較的薄いため、最近の丸型ブライダルのみに対応し、従来型の平型ブライダルには適合しません。オゾン社製の標準ダイニーマブライダル(別売)のご使用をお勧めします。

ハーネス側ブライダルは、適切なコネクタを使用して、スプレッターバーの適切な吊り下げポイントに取り付けてください。スプレッター／ブライダルシステムにはいくつかの種類があり、ブライダルが内蔵されているもの、専用の吊り下げポイントがあるもの、パラグライダーライザーのメイン吊り下げポイントを使用してパラシュートをスプレッターに接続するものなどがあります。

レスキューパラシュートのブライダルの接続方法については、スプレッターの取扱説明書を参照してください。



底部角のフラップをコンテナ側面パネルの溝に差し込み、密閉された(雪、ゴミなどが入らない)角を形成します。両方のファスナーを角に向かってスライドさせる前に、レスキューグルが角から外側に出ていることを確認してください。



トグルを正しい向きに向けたら、トグルの3本の黄色いケーブルをそれぞれのループに通します。各ケーブルは必ず最初に赤いループに通してください。すべてのループに通すようにしてください。ループはファスナーの両側に交互に配置されています。下側の背面ケーブルの場合は、フラップの両側に交互に配置されています。すべてのループにケーブルを通したら、先端をスロットに差し込んで整えます。トグルをしっかりと固定してください。



フラップはマグネットで、トグルはベルクロで固定できるようになりました。

組み込みは完了し、左図のように見えているはずです。

警告: オゾン社として、レスキューパラシュートシステムは必ず資格を持った専門家によって組み込まれることを強く推奨します。ご不明な点がある場合は、必ず経験豊富な専門家にご相談ください。あなたとパッセンジャーの安全に関わることです。

警告: 必ずシミュレーターにぶら下がった状態からレスキューの引き出しチェックを行ってください。これにより、レスキューシステムの正常な動作を確認できるだけでなく、組み込み手順もより深く理解することができます。トグルとインナーコンテナ間の長さが、パラシュートラインが絡まらない長さであることを確認してください。

装着

初めて飛行する前に、ハーネスが体に正しくフィットしているか、また機能や調整方法に慣れるために、シミュレーターにハーネスを吊り下げることをお勧めします。肩ベルトの長さを調整して最適なフィット感を見つけ、腰部サポートを調整して快適なリクライニング姿勢になるようにしてください。吊り下がる際は、必ずメインの吊り下げポイントに取り付けられたカラビナのみを使用してください。

ハーネスを装着するには、まず肩ベルトを肩にかけます。



レッグベルト/チェストベルト

レッグ/チェストベルトをクリックバックルで締結します。バックルを開閉するには、赤いボタンを押しながら操作してください。赤いボタンが押されるように、円形の穴を銀色の突起に合わせ、バックルを後ろにスライドさせます。赤いボタンが飛び出し、バックルが固定されます。

バックルが正しく閉じていることを確認してください。赤いボタンが飛び出し、メス側のバックルが完全に引き込まれてスロットに収まっていることを確認してください。

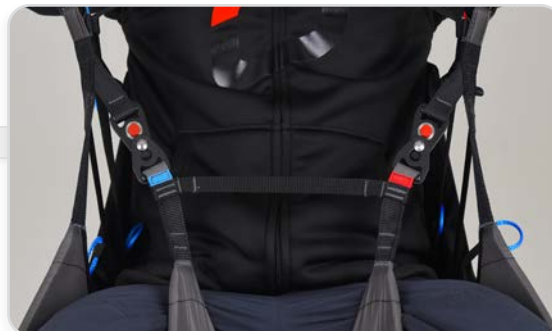


バックルを外すには、まず赤いボタンを押してからバックルを前方にスライドさせてください。

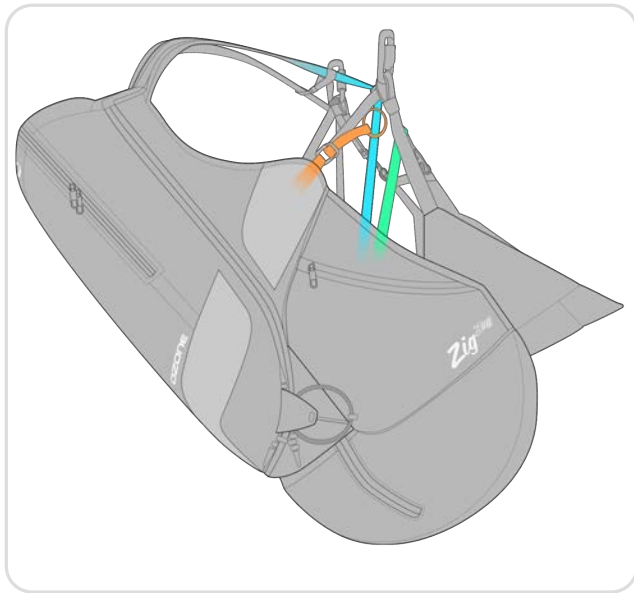
レッグ/チェストベルトの長さは慎重に設定されており、調整できません。



肩ベルトリテナークリップを留めてください。



調節



肩ベルト

肩ベルトの長さは、腰の位置付近にある調整タブで調節できます。ハーネスを装着した状態で立った状態で肩ベルトを調整し、肩が快適にフィットするようにしてください。座った状態で吊り下げられた状態で、ベルトが快適でしっかりと支えられていることを確認してください。



バックサポート

背もたれは、快適な飛行姿勢になるように調整してください。飛行中でも正確な調整が可能なので、腰が完全に支えられ、腹筋に負担がかからないようにしてください。調整は慎重に行ってください。緩すぎると、飛行中に体が過度に寝てしまう可能性があります。



シート角度

シートプレートの角度は好みに合わせて調整できます。

警告:調整は必ず左右対称に行ってください。変更を加える際は、時間をかけて自分に最適な位置を見つけ、毎回少しずつ調整してください。

機能



GO PRO ホルダー

ジグには、右側のカラビナ取り付けポイントにGoProホルダーが取り付けられています。空中から簡単にアクセスでき、調整可能な開口部で閉じることで、離着陸時に機材を保護できます。



サイドポケット

ジグにはサイドポケットが付いており、片方はファスナー付き、もう片方は伸縮性で、どちらも空中から簡単にアクセスできます。



使用法とメンテナンス



翼との接続

スプレッダーバーをメインのカラビナ取り付けポイントにあるカラビナに取り付けてください。

カラビナを交換する場合は、適切なサイズ・強度のもので正しく取り付けられることを確認してください。

ハーネスには、スプレッダーバーを取り付けるための他の適切な取り付けポイントはありません。

プレフライトチェック

離陸前には、徹底的なプレフライトチェックを行うことが重要です。

- パarachuteケーブルが正しく取り付けられていること、およびparashuteコンテナの周囲のファスナーが閉じていることを確認。
- 構造用テープを目視で点検し、明らかな損傷がないか確認。
- カラビナを目視で点検し、ひび割れや疲労の兆候がないか確認。
- スプレッダーはねじれなくカラビナに正しく接続されているか確認。
- スプレッダーはパッセンジャーハーネスに正しく取り付けられているか確認。
- すべてのポケットが閉じられ、ファスナーが閉まっていることを確認。
- レッグ／チェストベルトが正しく装着されているか確認。
- 肩ベルトリテーナーが正しく締結されているか確認。
- 自分のレッグベルトとパッセンジャーのレッグベルトを再確認。

レスキューパラシュートの開傘

もしあなたが不運にもレスキューを投げざるをえない状況に陥った場合は、確信を持ってそうしてください:

見て; 掴んで; 引き出し; 投げる。

- トグルを見て、掴んで引っ張り、固定ケーブルを外します。パラシュートは右手でしか投げるできません。
- インナーコンテナを引き出します。パラシュートがレスキューコンテナから横方向に引き出されるように、外側に向かって引っ張るのが最適です。トグルを上引っ張ると、レスキューが正しく引き出されない場合があります。装備をよく理解し、それに応じて操作方法を調整してください。
- パラシュートをキャンピーの方向ではなく、できるだけ遠くの開けた場所に投げてください。この段階で、トグルを離すことを忘れないでください。素早く開傘させるために、気流の方向に沿って、回転方向とは逆方向に投げるようにしてください。
- 投げた後、パラシュートが開傘しない場合(低エネルギーの緊急事態、例えばディープストールなどで起こり得ます)、パラシュートのブライダルを掴んで強く引っ張ります。これにより、パラシュートがより早く開傘します。
- パラシュートが開傘したら、次の段階はパラグライダーの無力化に集中することです。これにはいくつかの方法があります。Bラインストール、リアライザーストール、Aラインをたぐりよせキャンピーを両手で抱え込むか、ブレークを使ってグライダーを失速させます。最適な方法は状況によって異なります。最も重要なのは、グライダーを完全に無力化してパラシュートに悪影響を与えないようにし、ダウンプレーン(パラシュートを引っ張りながらグライダーが地面に向かって滑空し始める現象)を防ぐことです。どの方法を選択する場合でも、左右対称に行ってください。パラグライダーが回転し始めると、パラシュートに衝突して事実上パラシュートが機能しなくなる可能性があります。
- ほとんどのハーネスでは、レスキューパラシュートのブライダル接続位置の関係上、レスキューパラシュートを開傘すると自動的にPLF(脚を下ろした状態)になります。もしPLFになっていない場合は、着地時の衝撃を脚で吸収できるよう、できる限りPLFになるようにしてください。
- 緊急着陸時やレスキューパラシュート使用時は、必ずPLF(足から着地し、体をひねって転がり衝撃を和らげるテクニック)を使用してください。

トーイング

ジグはトーイングすることができます。トーイング用ブライダルはメインのカラビナに取り付けてください。ご不明な点がある場合は、資格のあるトーイングインストラクターにご相談いただくが、トーイングリリースシステムに付属の取扱説明書をご覧ください。

後付けパラシュートコンテナ

追加のパラシュートコンテナはジグには適していません。

着水

着水後は、レスキューパラシュート、シート下プロテクション、背もたれクッション、シートプレートを取り外し、乾燥させてください。海水に着水した場合は、ハーネスとすべての部品を真水で徹底的に洗浄し、塩分を完全に除去する必要があります。再組み立ての前に、ハーネスとすべての部品が完全に乾いていることを確認してください。

重要:着水した場合、背部プロテクションと後部セクションの自然な浮力により、パイロットが水中でうつ伏せになることがあります。直ちにすべてのベルトを外し、サスペンションラインに絡まないようにハーネスから離れるように泳いでください。

取扱い

ジグは、適切に手入れをすれば、多くのフライトと長年の使用に耐えることができます。清潔に保ち、飛行可能な状態を維持するために、以下の点にご注意ください:

- 紫外線、高温、高湿度への過度な曝露を避けてください。
- ハーネスは乾燥した状態で梱包し、涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ハーネスを引きずらないでください。特に着陸時は絶対に引きずらないでください。
- ハーネスは汚れや油分、その他の腐食性物質から遠ざけてください。
- 水と布で清掃してください。

点検

安全のため、すべての装備の定期点検は非常に重要です。オゾン社は、通常のプレフライト点検に加え、12ヶ月ごとの点検を推奨しています。点検の際は、縫い目、テープ、および構造的に重要なすべての箇所を目視で確認してください。特に、Xライトコネクターの下の吊り下げポイント周辺のテープは、摩耗が最も起こりやすい箇所ですので、注意深く点検してください。レスキューパラシュートシステムは6ヶ月ごとに点検し、パラシュートは製造元の推奨に従ってリバックしてください。損傷が見つかった場合、または少しでも不安がある場合は、ハーネスを専門家に点検してもらうようにしてください。

廃棄

ハーネスの耐用年数が過ぎたら、金属部品をすべて取り外し、残りの部分は環境に配慮した方法で廃棄してください。

仕様

	MS	ML
パイロット身長 (cm)	165-185	180-195
プロテクターを含む重量* (kg)	2.55	2.60

*ハーネスの重量はプロテクション、カラビナ、レスキューツグルを含んだ値

素材 生地

リップストップ ポリ 600D, 400D リップストップ, ブルーサイン認証 ナイロン 70D リップストップ, ライクラ

メインテープ

ガースアンドウルフ 25mm ポリアミド

バックル

オーストリアルバン HS150

カラビナ

エーデルリッド製フォーラス

認証

ジグは最大荷重120kgで EN 1651:2018+A1:2020, EN 12491:2015+A1:2020 および NFL 2-565-20 認証を取得しています。さらにシート下部プロテクションは Ricotest (France)によりCE規準に適合していると認証を受けています。

オゾンの品質保証

オゾン社では、製品の品質を非常に重視しています。当社のハーネスは、自社工場で最高水準の品質基準に基づいて製造されています。製造されるすべてのハーネスは、厳格な品質管理手順を経ており、使用されるすべての部品は追跡可能です。当社では常にお客様からのフィードバックを歓迎し、顧客サービスに尽力しています。オゾン社は、製造上の欠陥や不具合に対してすべての製品を保証いたします。欠陥のある製品は、オゾン社が無償で修理または交換いたします。オゾン社およびその販売代理店は、最高品質のサービスと修理を提供しており、摩耗や破損による製品の損傷は、適切な料金を支払って修理いたします。

販売代理店に連絡が取れない場合は、直接 info@flyozone.com までお問い合わせください。

最後に

安全は私たちのスポーツにおいて何にもまして重要な要素です。安全を確保するためには、訓練を積み、練習を重ね、周囲の危険に常に注意を払う必要があります。そのためには、できる限り定期的に飛行し、地上での操縦訓練を徹底的に行い、気象に関しても常に興味を持たなければなりません。これらのいずれかが欠けていると、必要以上に危険に身をさらすことになります。

毎年、多くのパイロットが離陸時に怪我をしています。あなたもその一人にならないようにしましょう。離陸は最も危険にさらされる時なので、十分に練習してください。離陸場所によっては狭くて難しい場所もあり、コンディションも常に完璧とは限りません。地上での操縦が上手であれば、他の人が苦労する中でも自信を持って安全に離陸できます。できる限り練習しましょう。そうすれば怪我をする可能性が減り、素晴らしいフライトを楽しめる可能性が高まります。

環境を尊重し、あなたの飛行エリアを大切にしてください。ハーネスの耐用年数が過ぎたら、金属部品をすべて取り外し、残りの部分は環境に配慮した方法で廃棄してください。

最後に、天候を尊重してください。天候は想像以上に大きな力を持っています。自分の飛行レベルに適した条件を理解し、その範囲内で飛行するようにしましょう。

ジグで楽しく素晴らしいフライトを
オゾンチーム

INSPIRED BY NATURE, *DRIVEN* BY THE ELEMENTS

FLYOZONE.COM

輸入者 ファルホークインターナショナル有限会社
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

OZONE

Ozone Gliders Ltd
16 Barnes Green
Livingston
Scotland
UNITED KINGDOM